

# 自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

## 地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

## ○記入方法

### [取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

### [取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

### [取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

### [特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

## ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## ○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホームシオンの園 水ヶ江
(ユニット名)	
所在地 (県・市町村名)	佐賀県佐賀市水ヶ江四丁目2番21号
記入者名 (管理者)	山口 由美子
記入日	平成 20年 11月 25日

# 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	○	サービスの質の向上に向けて取り組んでいきたい。
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	○	近隣の方々との交流を深めていけるように散歩や買い物を通して交流を持っていきたい。
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	○	今後もできるだけ地域への行事や活動に参加をしていきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>法人全体では夏祭りの開催、地域での出張介護講座等を行っておりますが、日々の業務の中では地域に貢献できることがないかの話し合いは特に行っていません。</p>	○	<p>今後、少しでも地域に貢献できるよう検討していきたい。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>部会等、機会あるごとに外部評価の意義について話をしております。改善点についても全職員で話し合い改善に向けて取り組んでいます。</p>	○	<p>今後も職員全員で取り組んで行きたいと思います。</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>二ヶ月に一回開催中。行事報告、予定、ホーム内での出来事等を報告しています。ご家族様、民生委員様からのご意見や質問、ホーム側からの提案等について話し合い、サービスの向上に活かすよう努力しています。</p>	○	<p>今後ご家族様や民生委員様、また行政からのご意見や提案を真摯に受け止め質の向上に向け努力していきたいと思います。</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>担当者との情報交換の機会を持ち、運営推進会議の中での議題に対し資料提供等の協力をいただいています。</p>	○	<p>運営推進会議以外での行き来は現在行っていないため、今後は会議以外での行き来が行えるように取り組んでいきたいと思います。</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在、一名様成年後見制度を利用されています。法人全体で高齢者の権利擁護についての研修会が開催されています。</p>	○	<p>必要な方には各種関係機関との連携を持ち活用していきたいと思います。</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>資料の回覧、高齢者虐待についての勉強会を行い学ぶ機会を持っています。</p>	○	<p>今後も虐待や身体拘束については常に意識を持ち取り組んでいきたいと思います。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には利用契約書、重要事項説明書により十分な説明を行っています。また、退去時は話し合いの場を設け理解、納得をいただけるよう対応しています。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時に、利用者がご家族に話されそれをご家族様が運営推進会議時に伝えられる。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時に、個々に応じた報告を行っており、緊急を要するときは電話で報告を行っている。	○ 今後もご家族様には密に連絡を取り合い、報告を行っていききたいと思います。また定期的に行っているおたよりも続けていききたいと思います。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情受付箱を設置しております。また、口頭でのご意見に関しては「苦情受付書」を作成し、早急に改善への取り組みを行っています。法人全体では、オンブズマン委員会を発足させ外部へ現せる機会を設けています。	○ 重要事項説明書には公的機関への苦情連絡先も記載されており、ご家族様のご意見や苦情は今後も真摯に受けとれ改善に向け取り組んでいきたいと思っています。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	部会等で活発な意見、提案を基に上申しています。また、日々の業務の中で意見等も反映できるよう努力しています。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	毎日の勤務体制は勤務表に基づいて行いますが、状況の変化等については、その都度調整に努めています	○ 利用者の状況の変化やご家族の要望に柔軟に対応ができるよう、職員と話し合いながら調整に努めていきたいと思っています。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	人事異動については十分に検討し、馴染みの関係を築いた職員の移動をできるだけ最小限に止めるよう配慮を行っています。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>OJT実績表に基づき、基本的知識、技術の指導を行っている。また、年間教育訓練計画にて職員の研修参加の機会を設け知識、技術の向上に努めている。</p>	○	<p>園内外の研修参加の機会を設け、研修後は他職員へその知識、技術を確実に伝達してより良いサービス提供が行えるように努めていく。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム関係の研修会参加を進め、研修会にて同業者との交流の機会を持ち、他施設の状況や情報を収集し自施設のサービスの向上に努めている。</p>	○	<p>研修会等を通じて同業者との交流を深め、相互訪問等も今後行っていけるよう努力していきたい。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>在宅部次長や地域課課長を置き、管理者や職員が意見、要望を相談しやすいようにしている。</p>		
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>人事考課を用いて、努力している職員への評価を行っている。</p>		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>在宅福祉ケアマネ担当者より相談から利用に至るまで十分に配慮されています。</p>		
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>在宅福祉ケアマネ担当者より相談から利用に至るまで十分に配慮されています。</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	担当ケアマネにて十分配慮されています。	○	御本人様が不安になられないように、側に寄り添い言葉掛けを行いご本人の思いを受け止めるように努力しています。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご本人、ご家族とも、事前にホームの見学をされ雰囲気や暮らしぶりを感じ取っていただいています。	○	ご本人やご家族の意向に沿えるよう努力していきたいと思えます。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	食事の支度や洗濯等家事を一緒に行ったり、新聞提供時や食事時の会話の中で、ご利用者様から昔の習慣を引き出す努力をしています。	○	今後も御利用者と一緒に過ごし喜怒哀楽を共に感じることのできるような関係作りに努めて行きたいと思えます。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時やカンファレンス時、運営推進会議を通し、一緒に本人様を支えていく関係を築いていけるよう努力しています。	○	今後ご家族とより良い関係となるよう努力していきます。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会時、カンファレンスにおいて相互のよりよい関係が保たれるよう努めています。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の親戚の方、近隣の方の面会時はゆっくり過ごしていただけるよう配慮しています。	○	ドライブ等でも本人様がご存知の地域をまわる等、関係が途切れないように今後も努めていきたいと思えます。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の関係を職員全員が共有し、利用者一人一人の個性を大切にしながら席の配置やトラブルになる前の早めの対応を心がけている。	○	利用者様の個性を大切にしながら相互の関係が良い方向へ行くように支援していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	関係を断ち切らないように十分な話し合いを行い、法人全体で支援を行っていきけるように取り組んでいます。	○	今後も十分な話し合いを行い、関係を断ち切らず継続的に支援させていただけるように努力していきたいと思ます。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	カンファレンスや毎日の生活の中で、本人様の希望や要望を把握する努力をしています。職員全員が利用者様本位であることを忘れずに取り組んでいます。	○	職員全員が利用者様一人一人に関心を持ち、御利用者様の思いや暮らし方の希望の把握に努めます。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメント時や面会時の会話を通じて生活歴やこれまでの経過等の把握に努めています。	○	ご家族様の面会時には、御本人の生活や趣味などこれまでの暮らしを大切に、その方らしい生活を送っていただけるよう努めていきたいと思ます。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	職員全員が利用者様一人一人の現状を総合的に把握できるよう職員間の連絡を密に行っています。また、毎月一回の部会で話し合いを行っています。	○	御本人様の残存機能を活かし、役割や達成感をもって頂けるような取り組みを今後もおこなっていききたいと思ます。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	半年に一度、カンファレンスにご家族、本人様に参加していただき、意見や要望等を反映した介護計画作成に努めています。	○	今後も本人、ご家族に参加していただき、本人様がより良く暮らせる介護計画の作成に努めていきます。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	期間に応じてカンファレンスを行い見直している。状態の変化が生じた場合は、その都度話し合い現状に即した計画を作成している。	○	今後も努力し継続して行きたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子は個別のケース記録に記載。介護計画見直し時はケース記録も参考にして話し合いを行っている。	○	今後も個別ケース記録の充実を図り、情報を共有しながら実践に活かすよう努力して行きたい。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご本人やご家族のその時々々の要望に応じ、対応できることについては臨機応変に対応しております。	○	今後も柔軟に対応して行きたい。
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティア訪問や民生委員さまの訪問はありますが地域資源と協力しながら支援しているとはいえない。	○	地域密着型サービスとして、地域の消防や各種関係機関との連携がもてるように今度努力して行きたいと思います。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	現在は特に行っておりません。	○	現在は特に必要な方はおられませんが、必要な際は協力しえて支援が行えるよう調整を行いたいと思います。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に参加していただき、ご意見等をいただいておりますが、現在、協働でのマネジメント等は行っておりません。		現在は対象の方がおられませんが、今後必要な時には協働して援助が行えるよう関係作りに努めたいと思います。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医による毎月一回の往診を実施しております。入居時、ご家族の希望があれば主治医を協力医へ変更しておりますが、以前からの主治医にかかられているご利用者に関しては、ご家族を通じて情報交換に努めている。	○	今後も医療機関との連携を図りながら対応して行きたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	今後、主治医との連携を含めご家族との話し合いを行っていききたいと思います。
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	ターミナルケアや重度化になった場合の対応を職員全員で話し合いながら、利用者様が安心して生活できる場を提供して行きたいと思っています。
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	「個人情報保護に関する基本方針」を基に対応し、利用者様の記録に関しては同意書をいただいています。また、個人の尊厳を重視した対応を心がけています。	○ ご利用者の尊厳、プライバシーを守り、また個人情報の取扱いには細心の注意を行っていききたいと思います。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人様の意見を尊重し自己決定が図れるような対応を心がけています。	○ ご利用様との会話の中で、食事や一日の過ごし方など御本人様の希望をくみ取ることができるよう努めていきたくとおもい
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	常にご利用者本位の生活を心がけ、利用者様の立場に立った支援ができるよう努力しています。また、その時々状況に応じ無理強いをすることなく柔軟な対応を心がけています。	○ 今後も、ご利用者のペースに合わせ、また、これまでの生活パターンを把握しできるだけ希望にそったサービス提供が行えるよう努めていきます。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	身嗜みやおしゃれもご本人の意思を尊重して対応しています。美容室については、希望される方はご本人の希望の店に出かけています。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	無理強いはずせずつ出来る方には、その方に合った作業を職員と一緒にしています。また、好みの食材を把握し献立に取り入れています。	○ 今後も食事が楽しみなものになるよう、継続して取り組んでいききたいと思います。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	ご利用者の好みのもを把握し、水分提供時やおやつ時には個々の好みに応じたものを提供しています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	ご利用者様個人の排泄パターンを把握しながら、日々の状況に応じた支援に努めています。	○	今後もできるだけトイレでの排泄が行えるように。御本人様の状態を見ながら排泄支援を行っていききたいと思います。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日、入浴は実施できる状態にしており、利用者様は交代で一日毎に入浴していただいておりますが、希望により柔軟に対応しております。	○	回数や入浴時間など、ご利用者様の希望にできるだけ添えるように検討を行っていききたいと思います。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中は和室を利用し、ご利用者のその時々状況や希望に応じて気持ちよく静養していただけるよう支援しています。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ご利用者一人一人の生活歴や楽しみごとを把握し、各個人に合った役割やアクティビティの支援に取り組んでいます。	○	今後も御本人様状況確認しながら、お手伝いをお願いするなど役割や楽しみを持っていただけるように支援を行っていききたいと思います。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人様の希望とあわせ、ご家族の希望及び個人の力量に応じた支援を行っております。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	その日の天気や状況に応じてドライブや買い物に出かけます。また、個人の希望により散歩等の外出支援が出来るよう努力しています。	○	今後も散歩や買い物等日常的に外出の機会を多く設け、戸外に出掛けられるよう支援していききたいと思います。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	毎年、法人内でご利用者の一泊旅行を実施中です。また、誕生日のプレゼントを買いに担当者と一緒にショッピングセンターへ出かけることもあります。	○	利用者一泊旅行や行事等への参加を積極的に行い、外出支援を行っていききたいと思います。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者様自らが事務所等で電話を掛けられるよう配慮しています。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	馴染みの方々の訪問の際は、湯茶を提供し状況に応じて居室で過ごしていただけるよう配慮しています。	○	今後も気軽に訪問していただけるよう配慮して行きたいと思います。
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員全員が身体拘束の対象となる行為を理解しており、拘束しないケアを実践している。	○	今後も勉強会等を通じて職員全員が身体拘束に対する知識を深め拘束のないケアを続けていきたいと思っています。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は夜間のみ施錠しています。居室は鍵を使用していません。	○	ご利用者様の安全に配慮し、鍵をかけないケアを継続していきたいと思っています。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中はリビングに見守りの職員を配置し利用者様の様子を把握しています。夜間は、定時の時間に安否確認を行っています。	○	常にご利用者様の所在が確認できるように職員を配置し、安全を守っていきたいと思っています。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	職員の目の届く範囲で手洗い用の石鹸や歯磨き粉等は常備しており、危険な利用の可能性がないか常に気に留めています。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	研修会等に積極的に参加し、職員の知識、技術の向上に努めています。また、ヒヤリハット報告や事故報告書を基に職員全員で話し合い再発防止に努めています。	○	今後も同じ事故等が発生しないように検討を行い防止に努めていきたいと思っています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時マニュアルを作成し職員全員に周知徹底を行っています。	○	応急手当や初期対応が行えるように研修等への参加を今後もおこなっていきたいと思います。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災報知機、消火器を設置。消防計画を作成し定期的に消防避難訓練を実施しております。地域の人々の協力を得られるよう消防団への働きかけをしています。	○	今後もご利用者様の安全確保のため定期的な消防訓練を実施するとともに地域への働きかけも行っていきたいと思ひます。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	ご家族の面会時に、利用者様が威圧感のない暮らしを続けるために起こり得るリスクについて、繰り返し説明、話し合いを行っています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日の健康管理表を基に状態把握に努め、情報の共有化を図っております。場合によってはかかりつけ医、ご家族への連絡を行い早急に対応することを心がけています。	○	今後も健康状態の把握に努め、体調の変化や異常の早期発見、対応に繋げて行きたいと思ひます。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書を保管し、直ぐ確認が取れるように対応しています。ン衣服薬の変更の場合は連絡ノートに記載し職員へ周知徹底を図っています。	○	今後も誤薬による危険性を認識し、間違いのないように行っていきたいと思ひます。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎日、乳製品を食事や水分提供時に取り入れています。また、食物繊維の多い食材を使用するよう心がけています。毎日体操を実施して、出来る限り自然排便となるよう取り組んでいます。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後の歯磨きの言葉掛け、必要に応じてポリデントを行うなど支援を行っています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事摂取量、一日の水分摂取量を記録し随時対応しています。法人の栄養士に毎月メニューをチェックしてもらい栄養バランスのとれた食事の定期要介護度を心掛けています。その時々、個々に応じた食事形態の工夫も行っています。	○	摂取量や嚥下状態を見ながら、柔軟に食事形態や提供する食材等、臨機応変に対応していきたいと思います。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルを基に実践しています。また、感染症や諸口有毒予防の研修に参加し知識の向上を図っています。	○	今後も実行し感染症予防に取り組んでいきたいと思っています。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	生鮮食品はこまめに買い物をし、新鮮で安全な食材を使用するよう心掛けています。また、台所、調理器具の衛生管理に努めています。	○	今後も衛生管理に注意しご利用様が安全で安心して食事をしていただけるように努めていきたいと思っています。
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関には季節の花を咲かせ家庭的な雰囲気となるよう心掛けています。	○	今後も季節の花を咲かせ近隣の方が訪問しやすく、ご来園の方が心癒されるような雰囲気作りを行っていききたいと思います。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	不快な光が入る所は、光が射す時のみよしずを使用しています。リビングとトイレが接近しているため消臭、衛生管理に心掛けています。	○	今後も居心地良く過ごしていただけるよう工夫して行きたいと思っています。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングのテーブル席やソファ、和室等好きなところで思い思いに過ごされています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に使い慣れた物品や好みの身の回り品の持ち込みについて説明を行い、ご家族で準備していただいています。	○	できるだけこれまでの生活を継続していただけるように、今後もつかいなれた物を準備していただけるよう勧めたいと思います。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	リビング、居室共に適宜換気を行っています。温室時計をリビング、居室に設置しチェックしています。また、ご利用者の意見を聞きながら冷暖房のこまめな調節を行っています。	○	ご利用者の健康管理の上でも常に温湿管理を行うと共に状況に応じて対応を行っていきたくと思います。
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	玄関、リビング、廊下、トイレ、洗面所には手すりを設置しています。	○	今後もご利用者の状況に合わせ、安全に生活していただけるように検討を行っていきたくと思います。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレ、洗面所の入り口が間違いやすく、違う暖簾をかけ混乱を防止しています。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関や二階のベランダはいつでも自由に入出入りできるようにしており、洗濯物を干したり庭を散歩されている。		

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように
		<input checked="" type="radio"/>	②数日に1回程度
		<input type="radio"/>	③たまに
		<input type="radio"/>	④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている
		<input checked="" type="radio"/>	②少しずつ増えている
		<input type="radio"/>	③あまり増えていない
		<input type="radio"/>	④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が
		<input checked="" type="radio"/>	②職員の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③職員の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input checked="" type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が
		<input checked="" type="radio"/>	②家族等の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③家族等の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・グループホーム「水ヶ江」では、食事の献立や食材選びに特に力を入れております。生鮮食材は近所の小売店でほぼ毎日調達しており野菜類は近くの農産物店にて取れたて野菜を調達しています。献立については、利用者様の希望を聞きながら出来る限り希望に副った食事を提供することで、美味しく食べていただき体力保持に繋げるよう努めています。また、筋力低下防止、脳の活性化のため毎日15分程度ラジオ体操や手足の運動をおこなっています。
- ・偶数月職員の勉強会を実施してサービスの質の向上に努めています。特に認知症についての勉強会を実施して利用者様に安心した暮らしを提供できるよう取り組んでいます。